地域包括ケアの地区展開　令和８年度　船橋　地区アセスメント

人口

面積（ｋ㎡）	人口（人）	人口密度（人／ｋ㎡）	高齢者人口（人）	高齢化率（%）	年少人口（人）	年少人口率（%）	世帯数（世帯）	平均世帯人数（人）	高齢者がいる世帯数				高齢者がいる		介護保険		障害者手帳保持者		障害サービス受給者	
										高齢単身者世帯数	高齢者のみ世帯数	その他高齢者がいる世帯	世帯率（%）	内高齢単身・高のみ世帯率	認定者数（人）	認定率（%）	身体障害者手帳	愛の手帳	自立支援給付	障害児通所給付
1.873	39,372	21,021	7,987	20.29%	5,160	13.11%	19,375	2.03	6,072	3,117	1,409	1,546	31.34%	23.36%	1,784	22.34%	865	258	310	198

傾向

この地区の管轄エリアは船橋1～7丁目と千歳台3～6丁目である。
大、中規模マンションや開発による戸建て住宅等の建設が進み、３０代、４０代の子育て世代も多く、子どもの人口が増加していたが、マンション開発等の落ち着きとともに、子どもの人口増加も落ち着いている。
建築年月の古い大規模集合住宅や都営住宅等では、居住者の高齢化、孤立化が進んでいる。

地域活動

町会・自治会数	会員世帯数	サロン等登録団体数					社協・新たな居場所登録団体数	社協・民間施設の活動場所発掘件数	社協・地区サポーター登録数	生活支援体制整備事業　協議体開催回数	資源開発・生活支援サービス件数	
			サロン	子育てサロン	ミニデイ							
6	7,951	25	19	4	2		0	22	71	2	1	

主な活動団体とその取組内容

地区町会自治会連合会(6町会自治会)の町会長会議を毎月定例で行い、地区情報の共有化を図っている。地区町連を中心とした船橋ふれあいまつり実行委員会や、地区区民防災会議、地区社協協議体において、各種団体との交流や協力、地区防災、見守りなどに取り組んでいる。
他地区と比較してサロンの参加者に男性が多く、紹介しやすいサロンが比較的多い。
地域活動の担い手の高齢化や固定化が進行している。千歳台エリアでは子育て世帯同士が地域でつながりを持てる場が他エリアと比べて少なく、世代交流も含めた地域の見守り機会の拡充が課題である。
サロン・ミニデイ等の交流場所を更に広げるために、施設及び住民への協力を呼びかける必要がある。

生活支援

地域密着型サービス							ショートステイ	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	都市型軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム	
定期巡回･随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症高齢者グループホーム	地域密着型特別養護老人ホーム						うち、特定施設入居者生活介護
0	0	2	2	0	4	0	2	3	0	2	9	6

障害者・児　通所系・共同生活援助等

有料老人ホームなどの入所型のサービスの他、ヘルパー８カ所・デイサービス６カ所と高齢者サービスは充実している。地区の高齢化率はほぼ区と同じだが、マンションなどの集合住宅が多いため、偏りがあり、高齢化の進んでいるエリアもある。世代間交流が希薄になっており「地域食堂」など多世代交流を目的とした会食会も行われている。身寄りのない認知症高齢者も増えてきているため、介護保険サービス業者だけでは支援が行き届かない。見守りネットワークなどの地域作りが必要である。

障害相談支援機関・相談支援事業所

地区内には障害者支援の法人があり様々な支援をおこなっている。地区内として障害者支援の事業所は１１カ所で、その内児童発達支援は７カ所ある。

医療

医療機関、訪問看護等

多くの医療機関（病院1ヶ所、診療所約25ヶ所）があり分布の偏りもないが、病院前にバス停のあったバス路線の本数が大幅に減少し、通院が困難になっている高齢者がでている。入院にも対応していたクリニックの入院病棟が閉鎖され、新たに訪問診療専門のクリニックができた。バスを使って地区外の診療機関を利用しているケースも多い。

子ども・教育	児童館	船橋児童館
	その他、児童施設	希望丘青少年交流センター（アップス）
	おでかけひろば	おでかけひろばにじ、すこやか広場
	保育施設	希望丘保育園、船橋東保育園、千歳保育園、千歳なないろ保育園、すこやか園保育園、ひだまり保育園、太陽の子世田谷船橋保育園、太陽の子めぐりさわ保育園、太陽の子千歳台2丁目保育園、にじいろ保育園千歳台、フラヌール保育園、フラヌール保育園分園、キッズスマイル世田谷千歳台保育園、もみの木保育園希望丘、もみの木保育園希望丘分園、YMCA保育園ねがい、日本女子体育大学附属保育園、らふ・くるーまむ、認定こども園世田谷ベアーズ、エクレール保育園、えにっくす芦花公園保育園、えにっくす
	幼稚園	春光幼稚園、東覚院千歳幼稚園
	新ＢＯＰ	希望丘小新BOP、千歳台小新BOP、船橋小新BOP、塚戸小新BOP
	地区内に所在する小学校または関係のある小学校	【区立】船橋小学校、希望丘小学校、千歳台小学校、塚戸小学校、経堂小学校、ほっとスクール希望丘
	地区内に所在する中学校または関係のある中学校	【区立】船橋希望中学校、千歳中学校、ほっとスクール希望丘【私立】恵泉女学園中学校
	地区内に所在する高校・大学等または関係のある高校・大学等	【都立】千歳丘高等学校　【私立】大東学園高等学校、恵泉女学園高等学校
	子どもに関するその他の事項	
	子どもぶんか村は各くらぶ（ボランティアくらぶほか７くらぶ）の活動を通し、青少年の健全育成や地域のまちづくりの活性化に寄与している。 子ども食堂は「いっしょにごはん」「SOMPO流子ども食堂（千歳台）」「子ども食堂プレアス」の３か所。 子育てサロンは「TIKITIKI」、「あかちゃんカフェ(令和8年7月から令和9年2月末まで活動場所の改修工事に伴う休止)」、「親子パンダクラブ」、「べびままひろばつぼみ」の４か所。	
その他支援	その他の支援機関など（例：就労支援など）	
	障害者就労支援センターすきっぷ	
公共施設	図書舘	希望丘図書室
	地区会館、区民集会所など	船橋地区会館(令和8年7月から令和9年2月末まで改修工事)　千歳台地区会館　希望丘区民集会所

住まい・環境・防災

主な公園・緑道・広場	希望丘公園、希望丘北公園、希望丘記念公園、希望丘中公園、希望丘南公園、千歳台三角公園、千歳台六丁目公園、ふなばしかどっこ広場公園、船橋本村公園、船橋二丁目公園、船橋三丁目能勢公園、船橋三丁目まちかど公園、廻沢公園、廻沢西公園、廻沢東公園、廻沢南公園、葭根公園、池田児童遊園、千歳台一丁目広場、西経堂児童遊園、西経堂第2児童遊園、船橋広場、船橋一丁目広場、葭根東広場、船橋４－３広場

土地利用、地理的特徴（住宅の特徴を含む）

管内には２つの地域風景資産がある。「船橋小径」は都会では貴重な季節の野草を見ることができる場として、近隣住民の散歩コースや近隣小学校の課外授業として利用されている。また「船橋小径」の近くにある「能勢公園」は水辺のある場ビオトープとして開園した。
農地が点在し、千歳台には果樹園もあり、のどかな風景がひろがる。

交通の便に関する事項（鉄道・道路）

鉄道駅は、管内南端の小田急線千歳船橋駅のみで、駅利用者は徒歩やバス等を利用している。京王線千歳烏山駅や八幡山駅へはバス等を利用している。
管内の中央部南北に通る都道環状８号線道路があり、船橋地区と千歳台地区が分断されるように、まちの様子、雰囲気が大きく変わる。
船橋地区内には、ライフラインとして重要な水道道路があり、水道管の保全とともに耐震化が進められている。令和7年に千歳船橋駅～希望ケ丘団地循環のコミュニティバスが急遽、週１便のみに減便され、高齢利用者などに影響がでている。また、都市計画道路路線もあり、居住者や町会などが進捗状況について関心を寄せている。

産業に関する事項（買物・商店街などを含む）

千歳船橋商店街振興組合がある。商店街には、船橋にゆかりのある名誉区民森繁久彌氏の名をとった森繁通りがあり、千歳船橋駅改札前には、森繁氏の演劇の当たり役のテビエ像がある。
また、千歳船橋駅の列車発着メロディーには知床旅情が使われている。
駅近くに、大型スーパーマーケットができた。（2025年竣工）

防災　→　各地区の地区防災計画を参照

地区課題解決の取組み

地区ビジョン
みんながつくる賑わいと活気のあるまち　船橋

課題、取組みの方向性
1. 大・中規模マンションなどの建設が進み、子育て世代や子どもの人口が増加している事により、子育て支援についての需要の増加が見込まれるため、四者連携会議などで検討を進めます。
2. 世代間の繋がりが希薄化し、多世代が関わりながら作り上げる居場所や困りごと解決の場が少なくなっているため、住民主体の居場所づくりのきっかけづくりなど支援を進めます。
3. 一部の建築年数の古い大規模集合住宅や都営住宅等では、居住者の高齢化が進み、互助による見守り体制構築が難しい状況となっているため、四者連携会議などで検討を進めます。

参加と協働の地域づくりの取組み内容（参加と協働を基盤とした地区課題への取組み）	
①	大・中規模マンションなどの建設が進み、子育て世代や子どもの人口が増加している事により、子育て支援についての需要の増加が見込まれるため、子育てサロンや子育て関係の地域活動団体との連携協力について四者連携会議などで検討を進めます。
②	【希望ヶ丘団地協議体・高齢者を支えあう会】平成29年4月、希望ヶ丘団地にて立ち上げ。過去の取り組みでは、あんすこ実施による介護予防体操後に、団地内の談話室を利用して身近な困りごとへの情報提供や専門機関による健康相談を行う「希望ヶ丘団地Ｅラウンジ相談会」や、自宅での入浴困難者への移動入浴支援「おふろにいこうよ」など実施した。現在は、団地内で減少傾向にある居場所づくりとして「Eラウンジでひまつぶし」を行い、自主化に向け自治会や住民と取組みを行っている。今後は居場所における相談機能の拡充や居場所を支える福祉人材の拡充が課題になっている。
③	【都営船橋４丁目住宅協議体】希望ヶ丘団地での成果と反省を踏まえ、令和2年2月、希望ヶ丘団地と同じように高齢化率が高い都営船橋４丁目住宅を対象に設立。過去の取り組みでは、居住者へのアンケートを通じて生活課題を抽出し、自宅の鍵管理や緊急時に備えた連絡先の確保への支援、青少年船橋地区委員の子どもと連携した清掃活動や住宅集会所を使用した活動による居場所作りへの取り組みを行った。その後、協議体に松沢病院の専門看護師を招聘し、団地居住者の心身の健康不安について専門的知見による相談や、居住者同士の関わりを深める事を目的とした体操と茶話会の「午後のラジオ体操」を開催していたが、現在は諸事情により活動が廃止となった。今後、住民同士の繋がりをどのように維持していくのかが課題となっている。